

平成28年2月10日

中部地方整備局

「中部圏 歴史・文化を活かした地域づくりフォーラム」を開催します！

～ “つながり” による魅力の拡大を目指して ～

中部地方整備局では、地域の皆様が、地域資源としての中部地方の歴史・文化を再認識し、それらを地域間や世代間で“つなぐ”ことでその魅力を拡大することにより、今後の広域的な地域づくりに役立てていただくことを目的として、以下のフォーラムを開催します。

概要 要： 本年度末の国土交通大臣決定を目指している新たな中部圏広域地方計画においては、「暮らしやすさと歴史文化に彩られた“世界ものづくり対流拠点-中部”」というサブタイトル(予定)のとおり、歴史・文化を地域づくりに活かすことが重要なテーマになっています。フォーラムでは、地域の歴史・文化を活かして、“つなぐ”をキーワードとして、圏域全体が元気になるための方策などについて議論します。

日時：平成28年3月9日(水) 13:30～16:30

場所：**名古屋能楽堂 能舞台**(名古屋市中区三の丸一丁目1番1号)

内容：**基調講演**「歴史・文化を地域活性化に活かす」 歴史作家 どうもんらゆし 童門冬二氏

パネルディスカッション「歴史・文化を活かした中部圏の今後の地域づくり」

コーディネーター

名古屋市立大学 名誉教授

せぐちてつお 瀬口哲夫氏

パネリスト

ラジオDJ・インバウンド観光アドバイザー

クリス・グレン氏

講師

こいけりんりん 古池麟林氏

トヨタ産業技術記念館 副館長・学芸員

なりたとしひで 成田年秀氏

名古屋市 副市長

たみやまさみち 田宮正道氏

主催：国土交通省 中部地方整備局

参加方法：事前申し込み制、入場無料(定員400名)先着順
別紙のとおりメール又はFAXで申し込みください(平成28年3月2日(水)まで)。

取材申込：取材をご希望される報道機関におかれましては、別紙-1「取材申込書」により
事前にFAXでお申し込みください(平成28年3月4日(金)17時まで)。

配布先：中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、静岡県政記者クラブ、
三重県政記者クラブ・三重第二県政記者クラブ、長野県庁内会見場

【問合せ先】国土交通省中部地方整備局

建政部 計画管理課 課長 松田 純一

課長補佐 瀬戸口 卓男

TEL：052-953-8571

FAX：052-953-8605

中部地方整備局 建政部 計画管理課 行
(FAX : 052-953-8605)

中部圏 歴史・文化を活かした地域づくりフォーラム
取材申込書

平成28年3月9日(水)開催の「中部圏 歴史・文化を活かした地域づくりフォーラム」について、取材をご希望される報道機関におかれましては、事前にお申し込みをお願いいたします。

FAX 送信期限：平成28年3月4日(金) 17時00分まで

1. 報道機関名 _____

2. 取材者等

(1) ご氏名 _____

(2) 連絡先 TEL _____

(3) 取材人数 _____

3. その他

- ・カメラ等撮影については、自由です。
- ・当日、取材受付を13時00分から行いますので、取材される方は必ず「受付」にて手続きをお願い致します。
- ・取材の際は、報道機関名がわかる取材者証(腕章)などの着用をお願いします。

【問合せ先】国土交通省中部地方整備局

建政部 計画管理課 課長 松田 純一

課長補佐 瀬戸口 卓男

TEL : 052-953-8571

FAX : 052-953-8605

中部圏

歴史・文化を活かした 地域づくりフォーラム

平成28年

3月9日（水）名古屋能楽堂

13:30～16:30（開場 13:00）

入場
無料
定員400名

基調講演

歴史作家 童門冬二 氏をお招きします

■プログラム

13:30 開会 主催者挨拶
基調講演「歴史・文化を地域活性化に活かす」
歴史作家 童門冬二 氏

14:45 パネルディスカッション
「歴史・文化を活かした中部圏の今後の地域づくり」

■コーディネーター
名古屋市立大学 名誉教授 瀬口 哲夫 氏

■パネリスト
ラジオDJ・インバウンド観光アドバイザー クリス・グレン 氏
講談師 古池 鱗林 氏
トヨタ産業技術記念館 副館長・学芸員 成田 年秀 氏
名古屋市 副市長 田宮 正道 氏

■お問い合わせ

TEL : 052-953-8571

中部地方整備局 建政部計画管理課

■会場

名古屋能楽堂 能舞台

名古屋市中区三の丸一丁目1番1号
(名古屋城正門前) TEL052-231-0088

【交通アクセス】

- ・名古屋地下鉄
鶴舞線「浅間町」下車 1番出口より東へ徒歩10分
名城線「市役所」下車 7番出口より西へ徒歩12分
- ・名古屋市バス「名古屋城正門前」下車すぐ
(栄13号系統、栄27号系統、西巡回系統)
- ・なごや観光ルートバスメール「名古屋城」下車すぐ

【注意事項】

- ・館内は指定場所以外での飲食・喫煙は禁止となっております。



* 館内には、能楽資料を展示している展示室（無料）もございます。

主催：国土交通省 中部地方整備局

■ 出演者プロフィール

基調講演



歴史作家
童門 冬二 氏

1927年、東京都生まれ。東京都広報室長、企画調整局長、政策室長など要職を歴任。1979年、美濃部東京都知事の引退とともに都庁を去り、作家活動に専念。在職中に培った人間管理と組織の実学を歴史と重ね合わせ、小説、ノンフィクションの世界に新境地を開く。「歴史に見る地域主権」「歴史に学ぶまちづくり」などをテーマに全国各地で講演活動も展開。2015年10月、「細井平洲・童門冬二記念 嚶鳴広場」が東海市芸術劇場にオープンし、嚶鳴広場顧問に就任。『小説上杉鷹山』『細井平洲の経営学』名将真田幸村』など著書は500冊以上。

© 堤勝雄

パネルディスカッション

■ コーディネーター



名古屋市立大学 名誉教授
瀬口 哲夫 氏

1945年、大分県生まれ。工学博士。1996年より、名古屋市立大学大学院芸術工学研究科教授。同大芸術工学部長を経て現在に至る。歴史的遺産を活かしたまちづくり、都市景観や土地利用を考慮した都市計画について研究し、中心市街地の活性化や美しいまちづくりの実践活動を行っている。2010年度日本建築学会賞（論文）受賞、2012年度日本都市計画学会功績賞受賞。

■ パネリスト



ラジオDJ・タレント・インバウンド観光アドバイザー
クリス・グレン 氏

オーストラリア出身、名古屋市在住。ラジオDJとして活躍するほか、日本の魅力を語る外国人としてテレビ出演も多数。趣味は、戦国の歴史研究、甲冑制作、城めぐり等。歴史や伝統、地域の魅力を伝える活動をライフワークとし、それらをテーマにした講演やガイドツアーは人気が高い。著書に「豪州人歴史愛好家、名城に行く」がある。



講師
古池 鱗林 氏

1999年に名古屋で活動するタレントとしてデビュー。2006年春、水谷ミミ（風鱗）から上方講談師旭堂南鱗道場の紹介を受け、3年間講談道場に通う。2009年春、南鱗の「鱗」の字をもらって女流講談師古池鱗林をいただく。現在、中部地区で3人いる講談師のうちの一人として活躍するほか、ラジオ、テレビ等でも活躍中。



トヨタ産業技術記念館 副館長・学芸員
成田 年秀 氏

1954年、愛知県生まれ。慶應義塾大学大学院工学研究科修了。（株）豊田自動織機にて産業車両の研究・開発、また秘書・広報等を歴任。2009年にトヨタ産業技術記念館へ赴任、2012年より学芸部門総括の副館長に就任、現在に至る。中部産業遺産研究会等へ寄稿、講演「動かし続けることにごたわる博物館」など。



名古屋市 副市長
田宮 正道 氏

東京大学大学院都市工学専門課程修了。1979年に名古屋市技術職員として採用。名古屋市で都市計画、建築・営繕、住宅及び市街地の開発・整備を所管する住宅都市局の都市計画部長、理事（都市計画・建築担当）、局長を歴任。2014年4月から副市長に就任し、財政、環境、まちづくり、上下水道、交通などの分野を担当。

歴史・文化を活かした地域づくりフォーラム

参加申込書

宛先／国土交通省 中部地方整備局 建政部 計画管理課

締切／平成28年3月2日（水）

▶▶▶ メールでお申し込み

keikakukanri@cbr.mlit.go.jp

組織・事業所名、参加者全員の氏名（フリガナ）、電話番号をご記載の上、メールしてください。

▶▶▶ FAXでお申し込み

FAX : 052-953-8605

下記にご記入の上、FAXしてください。（中部地方整備局 建政部 計画管理課宛）

申込日／平成28年 月 日

組織・事業所名			
所属	役職	お名前	ご連絡先（電話番号）
		フリガナ	
		フリガナ	
		フリガナ	

※参加決定通知は行いません。当日受付まで直接お越しください。

※お申し込み多数の場合は、先着順とさせていただきます。ご参加いただけない方には、ご連絡をさせていただきます。

※お預かりした個人情報は「当フォーラム」の運営にのみ利用いたします。